

26 天然酵母飲料「酵母バイオMT7000」の持つホメオスタシス促進効果

○大西 秀典

(ストレスクリニック・おおにし内科)

多田 龍生 (第一酵母株式会社)

[目的] 世界の長寿地域では多様な発酵食品が日常的に摂取され、長寿の要因のひとつと考えられている。この発酵作用を持つ微生物の中で酵母は霊長類の時代から、人類と共生をしてきた。天然酵母発酵飲料酵母バイオMT7000の食効を検証する目的でその飲用臨床試験を行った。

[方法] 酵母バイオ製品を過去3ヶ月以上飲用したことの無い、8歳から71歳までの男性7名、女性13名を対象とした。酵母バイオMT7000を1日10mlから始め、7日目に80mlになるように漸増し、以後1日60~80mlを8週間に渡って飲用させ、開始日と終了日に採血を行い、終了後に自覚症状のアンケート調査を実施した。

[結果] 血液一般では多血症を示した4名が赤血球数の減少を認め、2名が貧血であったが、終了時に改善を示した。糖代謝では開始時に2名がフルクトサミンの高値、1名が低値を認めたが、終了時には3名とも正常化した。総コレステロールは開始時に4名が高値を示したが、終了時にはいずれも低下し、3名が正常化した。尿酸は開始時に4名が高値を示し、この内3名が終了時に正常化した。腸内の腐敗状態を表す血中アンモニアは開始時に5名が高値を示したが、全員が終了時に正常化した。

自覚症状調査では40~50%の人が、体調と食欲および便通が良くなったことを示した。

[結論] ヒトのホメオスタシス・システムは、中枢神経系を中心に、内分泌系、免疫系、自律神経系がネットワークしたものである。これを皮膚、粘膜が取り囲み、これをインターフェイスとして常在微生物叢が共生しており、これが本来のホメオスタシス・システムである。酵母バイオMT7000の飲用により、ホメオスタシス促進効果というべき食効を認めた。今後、食品機能に留まらず、代替医療全体においてホメオスタシス促進効果がキーワードになると考える。